

## 記紀に由来する名前の神社

絵馬が大きい茅渟神社

茅渟という名は、大阪湾の古い呼び名（「血沼の海」）。いつせのみこと五瀬命の伝説に由来します。明治時代に樽井小学校の正門にあった山之井神社も合祀されました。



旅の神様 道祖神 樽井をわざ

わいから守り、旅人を守護する神様です。平安時代からまつられているとも言われている大変古い神様です。



## 歴史たっぷり、お宝いっぱい—南泉寺

天正5年、織田信長による根来攻めの際、樽井も焼き払われたといわれています。にもかかわらず、いわれのあるたくさんの石造物やぶい仏像などがいっぱいあります。



### 今ものこる根来攻めあと



**仏像** 平安時代のものだそうです。樽井の人たちが命をかけて守ったものだから、ぜひ見に行ってください。  
**はしら石** 黒くなっているのは焼け焦げたあとだそうです。柱がおいていた部分だけが白く残っています。

### みんなの心をよくするお寺—受法寺

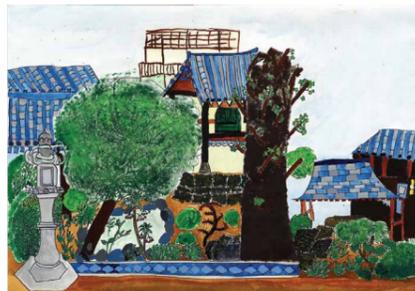
最初は、辻本道場という道場だったそうです。1630年に寺号を受法寺とし、1645年堂を建立したそうです。



**鐘** 戦争中に鐘を供出し、昭和43年6月に今の鐘が寄贈されたそうです。大晦日のとき鐘を108回つが、普段はほとんどつかないそうです。

## 信長・秀吉の足跡

**根来の出城—専徳寺**  
根来寺の出城として海岸地に建てられたのがはまりだそうです。本堂は7間四面の広さで、一般の人が本堂内でお参りできるようにになっています。



### 専徳寺の宝物

城国(谷)山専徳寺は名工・奈良利が作った「天水受け」があります。このへんでは有名で色々な人に見に来るそうです。「天水受け」は4人の力士が支えて持っています。あと、天水受けを見に来たらぜひ専徳寺の住職さんのお話も聞いてみてはいかがでしょうか？

**ふたつある鐘** ひとつは法要がはじまる1時間前に法要が始まることを知らせる行事鐘。ふたつめは法要がはじまることを知らせる喚鐘。戦時中に供出したため、約20年ほど専徳寺には鐘がなかったそうです。



**永禄の五輪塔** 永禄5(1562)年につくられたもの。大きさにびっくり。横のお墓も小さくてびっくりです。



**歯痛を止めるお地藏さん**  
歯が痛い時や健康になるため削って飲んだそうです。こんなものもあるのかと驚きました。



**石どうろう** 岸和田城にあったものです。江戸の将軍の供養のためにつくったそうです。こんな歴史遺産があつてうれしいと思います。

**宝篋印塔** お経を書いた巻物を入れていたが、もともとはおしゃか様の骨を入れるものだったそうです。また南泉寺に入ると左側の宝篋印塔は、奈良石さんが作ったそうです。



## 町のお地藏さん

**地藏尊守ってくれる子ども神**  
大開地藏尊・御手洗の淵地藏尊  
もともと「大開」と「御手洗の淵」という場所にあったものを、戦前に獅子講のやぐら部屋の近くに、まとめておまつりしたそうです。今でも私たちを守ってくれています。

## ゆたかな湧水



### 洗濯機こわれるたびに八反川

このあたりの八反の田んぼをうるおすぐらいの水が流れていることから名付けられました。樽井は昔から水が豊か。昔は朝早くから洗濯をするお母さんたちが集まっていたそうです。

## 坂の上登ってみるといいことが

樽井は坂のまち。いわれのある坂道があります。



**ドングリいっぱい—地藏坂** 地藏坂にあるお地藏様には牛神様がまつられています。地藏坂にはドングリの木があり、すごくかわいいです。時間があればぜひ行ってみてください。

**江戸時代の豪商がつくった坂—仁右衛門坂** 江戸時代、酒造業や廻船行を営む豪商、深見仁右衛門が蔵から荷物を運ぶのに便利ように、屋敷の前から樽井浜へ直接道路を作ったことから、そう呼ばれるようになりました。急なので登りづらいですが、登りきって後ろを見ると関西国際空港が見えるかも。おすすめです。



**旅の神様がいた場所—道祖神坂** 今でも多くの人に親しまれている道祖神社。本体は茅渟神社に移されています。一見ただの小屋のようですが深い歴史がひそんでいます。感動しました。

## いまだ現役のリトロな建物

### 紡績で栄えた工場跡

樽井は紡績でにぎわった町。その当時の建物が今も残ります。



**赤いレンガの紡績工場跡** 大正時代から80年続いた紡績工場でした。倉庫として残されていたものを、うまく再生しています。コンサート会場や展示会場としても使われているので、ぜひ機会があれば、行ってみてください。

大正生まれで今だ現役—赤レンガ造りの工場 樽井駅の近くにありま。大正8年にできました。昔は九州、四国からたくさんの方が働かに来ていて、とてもにぎわっていたそうです。工場で作られた製品は、海外にも輸出していたため、工場の奥に棧橋が作られ、貨物船が行き来していたそうです。今はブッククロスや合皮を作っています。



**リトロな町のシンボル—樽井町役場跡** 樽井小学校正門の右手にあります。戦前、役場に勤められていた方の初任給は25円だったそうです。昭和31年、泉南町が誕生したのに伴い、出張所になりました。現在は樽井小学校のチビッコホームとなっています。

## 地域でのこす日本書紀の舞台

### いにしへの森

『日本書紀』にある神武天皇と兄の五瀬命の物語。その舞台が泉南市とされ、ゆかりの場所が、いまもみんな大切にしています。



**天神の森** けがをした五瀬命の手当をした場所といわれています。江戸時代に植えられたといわれる松林は、大阪緑の百選に選ばれています。

**山の井遺跡の碑** 神武天皇の兄、五瀬命が戦いでけがをした時、ここにあった清水で傷を洗ったといわれています。公園になっていますので、みなさん来てください。



